

主催：第23回日本心不全学会学術集会（大会長 広島大学大学院医系科学研究科 循環器内科学 教授 木原康樹）  
広島大学病院

協力：広島県（広島県地域医療介護総合確保事業） 後援：広島市、府中町、海田町、坂町、熊野町、広島県医師会、広島県看護協会

## 心臓いきいき市民公開講座 ～人生会議：心不全とともにあなたらしく生きるために…～

日時：2019年10月6日（日）15：10～17：00 場所：広島国際会議場 第5会場 地下2階 コスモス1

2019年10月6日（日）広島国際会議場において心臓いきいき市民公開講座を開催し、73名の市民、医療関係者にご参加いただきました。当講座は全国的に増加している心不全の正しい知識を身につけてもらい、発症や重症化予防に役立ててもらおうこと、その人らしい人生を送るための方法を知ってもらうことを目的に開催され、3名の医師による講演がありました。開会の挨拶は広島大学病院 看護部長 山本雅子が、閉会の挨拶は広島大学病院心不全センター センター長 木原康樹より行われました（写真1）。



写真1  
（左）広島大学病院看護部長 山本雅子  
（右）広島大学病院心不全センター長 木原康樹

【講演①】広島大学病院循環器内科助教 日高貴之医師より、「心不全ってなあに？」の演題で講演がありました（写真2）。日高医師は、心不全は上手く付き合えば入退院を予防し、在宅で長く生活することができるが、そのためには、医療者が病院で行う治療と、日常生活上の管理が重要であることを、述べられました。



写真2 講演① 日高貴之先生

【講演②】広島県地域保健対策協議会 ACP 普及促進ワーキンググループ長 本家好文医師より、「広島県地対協における人生会議（ACP）普及の取り組み」の演題で講演がありました（写真3）。本家医師は、その人らしく生きるためには、ACPを最期の時に行うのではなく、限られた時間をどのように過ごしたいかということ、家族や患者を支えている医療・介護従事者とともに、事前に話し合う機会を持つことが大切であると述べられました（写真4）。



写真3 講演②  
本家好文先生

写真4 講演②で紹介  
豊かな人生とともに  
～私の心づもり～  
（広島県地対協作成）

【講演③】飯塚病院緩和ケア科 部長 柏木秀行医師より、「心不全とともにある人生～あなたの支えを増やします～」の演題で講演がありました。柏木医師は、緩和ケアとは決して終末期に行うものではなく、辛い思いをしている時期から受けられるものであると述べ、患者や家族とのエピソードや、訪問時、看取り際の写真を紹介し、最期に関する話し合いを後回しにするのではなく、自分の意思を家族や周囲に話し、望ましい方法を一緒に考えることがACPであると述べられました。

参加者の方は、熱心にメモを取られている方も多く、積極的に質問される姿も見受けられ、一般市民の心不全に対する関心の高さが伺えました（写真5）。今後も、一般市民の皆様に対し、心不全に関する啓蒙活動を積極的に行っていきたいと思っております。



写真5 質疑応答 会場から柏木秀行先生へ

【広島大学病院心不全センター事務局】